

投稿・執筆規定

1. 本誌の目的

- ① 理学療法及び関連領域における研究報告・実践報告として公開の場を提供すること
- ② NPO法人愛知県理学療法学会の活動として行われた研修会などの講演内容を解説した論文の掲載
- ③ 理学療法士の卒後継続教育の奨励(教育的な論文の掲載)
- ④ 理学療法の臨床・研究および教育に有益な社会的・学術的情報の提供

2. 投稿記事の種類

研究報告, 症例報告, 短報, 総説, その他(文献抄読, トライアル, 調査 など)

3. 投稿者の資格

原則として筆頭執筆者は本会の会員であること。しかし, 特に本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。

4. 具備すべき条件

- ① 他紙に発表または投稿中の原稿でないこと。
- ② 原稿は2部(1部はコピー)送付すること。また可能な限り, 原稿の文書をテキスト形式にしてフロッピーディスクまたは電子メールで送付すること。提出論文のコピーを必ず手元に保管すること。
- ③ 規定枚数を超過しないこと。研究報告, 症例報告は, 400字詰め原稿用紙30枚以内, 短報は10枚以内, 総説は40枚以内, トライアルは5枚以内(各々図表, 文献を含む), 文献抄読は3枚以内とする。図表は1個を400字詰め原稿用紙1枚に換算すること。
- ④ 論文には和英併記にて題名・所属名・氏名・和文の要旨(400字程度)・キーワード(3個)をつけること。
- ⑤ 原稿は横書き, 口語体, 現代かなづかい, 数字は算用数字, 数量は原則として国際単位系(SI単位)を用いる。時間:s, 長さ:m, 量:kg, 温度:℃, 周波数:Hz等。
- ⑥ 外国人名には原則として原語を用い, 外国の地名はカタカナ書きとする。専門用語の外国語表記は避けてできる限り訳語を用い, 必要に応じて()の中に原語を入れること。

[例] 理学療法 (physical therapy)

- ⑦ 引用文献は著者のアルファベット順または引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名, 論文題目, 雑誌名, 巻, 号, 頁(最初-最終), 西暦年号の順に書き, 単行本の場合は著者氏名, 書名, 編集者名, 発行所名, 発行地, 年次,

頁を記載する。文献の省略は公の省略法(Index Medicusなど)に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合には最初の2名を書き, 他は「・他」, または“et al.”とし, 抄録を引用する場合は最初の著者氏名のみとする。

[例]

- 1) 堀場充哉, 谷田武喜・他: 変形性股関節症における中殿筋の有酸素的代謝能力の検討。理学療法学25(3): 105-112, 1998.
 - 2) Borlongan CV, Yamamoto M, et al: Glial cell survival is enhanced during melatonin-induced neuroprotection against cerebral ischemia. FASEB J 14: 1307-1317, 2000.
 - 3) 大谷清: リハビリテーション整形外科学, 第4版, 医学書院, 1997, pp 23-28.
 - 4) Bork CE: Research in physical therapy. Lippincott-Raven, Philadelphia, 1997, pp 103-110.
- ⑧ 表・図(写真を含む)の挿入位置は本文の右欄外に指示する。

5. 投稿論文に対する査読

投稿された論文(依頼原稿を除く)に対して, 査読審査を実施する。審査員は原則1名とする。本誌における査読制度は, 会員の学術活動発展を目指した教育的な観点に重点をおく事を基本とする。

6. 原稿の採択

原稿の採否, 掲載順は, 最終的に学術誌部で決定する。また, 編集部の責任において, 多少字句の訂正をすることがある。

7. 校正

著者校正は原則として1回行う。

8. 依頼原稿の締切

原稿依頼文書に明記(投稿論文はこの限りではない)

9. 原稿送付先及び連絡先

〒461-8673

名古屋市東区大幸南1-1-20

名古屋大学医学部保健学科

理学療法学専攻

石田 和人 宛

TEL / FAX (052) 719-1343

電子メール: pt@be.to

10. その他

掲載された論文等の著作権は, NPO法人愛知県理学療法学会に属します。

(平成20年4月1日 一部改訂)